

令和6年3月

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における塩草立葉小学校の結果分析と今後の取組について

大阪市立塩草立葉小学校

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年4月から7月末までの期間に、5年生を対象として「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

1. 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子どもの体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第5学年、義務教育学校前期課程5年生、特別支援学校小学部第5学年の原則として全児童
- ・塩草立葉小学校では、5年生 64名

3. 調査内容（児童に対する調査）

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）

小学校調査では、以下の種目を実施する。8種目】

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童質問紙調査」）を実施。

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

大阪市立塩草立葉小

学校

児童数

64

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.75	19.39	29.03	38.69	39.08	9.56	145.00	19.11	48.86
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	14.36	18.29	34.85	36.18	33.32	9.76	142.18	12.96	51.74
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

※青色は、全国平均を上回る種目。黄色は、大阪市平均を上回る種目。

結果の概要

【実技8種目の平均】

大阪市平均と全国平均と共に上回った種目は、男女とも上体起こし。大阪市平均を上回った種目は、男子の反復横とびと女子の立ち幅とび、ソフトボール投げである。

【体力合計点について】

男子は、大阪市平均を2. 27点、全国平均を3. 73点下回った。

女子は、大阪市平均を0. 93点、全国平均を2. 54点下回った。

【質問「運動やスポーツをすることは好きですか」に肯定的な回答をした割合】

男子は、本校91. 7%、大阪市92. 6%、全国92. 9%。

女子は、本校78. 6%、大阪市83. 5%、全国85. 7%。

【質問「1週間の総運動時間は」に「60分未満」と回答した割合について】

男子は、本校20. 0%、大阪市10. 5%、全国9. 0%。

女子は、本校11. 1%、大阪市18. 3%、全国11. 1%。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- 新型コロナウイルスの制限が解かれ、日常の体育学習や体力づくりの取り組みを各学年の実態に合わせて行ってきた。今年度は、子どもたちが主体的に運動に親しめるよう、子ども同士の気づきや学び合い、励ましなどを取り入れながら、運動への関心を高めるとともに、運動量を十分確保するようにした。また、トップアスリート「夢・授業」などプロスポーツ選手による特別授業を実施して、運動への動機づけを行った。
- 大阪市や全国の平均を上回った実技種目が複数ある。体力合計点では、女子が大阪市平均に肉薄しており、1週間の総運動量が60分未満の割合も、全国平均より少ない。
- 今後も、運動の楽しさをさらに味わえるよう、家庭、地域と連携しながら、体育学習や体力づくりの場と方法を工夫していく。